

平成 26 年度 学術振興基金助成による成果報告書

平成 27 年 3 月 31 日

学 長 殿

所属部局・職名 人間発達文化学類・教授

申 請 者 名 渡邊晃一

助成事業の区分 (該当するものに○印)	研究協力に関する事業 (学術出版・叢書・学会等) 学術振興に関する事業 (学生・事務職員・ その他の特別事業)
事 業 名	「福島ビエンナーレ 2014 circulate」
事業実施期間	平成 26 年 10 月 11 日 ～ 平成 26 年 10 月 26 日
成 果 の 概 要	<p>会津の喜多方と湯川村を拠点に、稲作文化、水、氣の「循環」をテーマに、福島大学関係者ならびに福島を拠点に活動している芸術研究に関わる関係者が中心となって、国内のみならず国際的なアーティストを招待し、最先端の芸術作品を紹介するとともに、幅広い世代が関心を抱き、多くの人々が交流し、地域文化を活性化させる場を設定した。</p> <p>震災後、福島に住んでいる人々にとって、福島に住む人々との協働活動を軸に、新しい芸術文化による福島のイメージ作りが重要となっている。本企画は新しい価値を提供する機会と同時に、産官民学の個々の「壁」を取り払った積極的な交信を保つ場を生み出す機会となった。</p> <p>【主な出品者】 安孫子亘、荒井経、飯野和好、伊藤将和、伊藤有壺、今林由佳、大石文、岡村桂三郎、小野耕石、小野良昌、片桐功敦、加藤清美、加藤貴義、金沢文利、唐沢優江、川村克彦、北川健次、國府理、高明、サガキケイタ、柵瀬茉莉子、佐竹真紀子、佐藤香、佐藤卓、三瓶光夫、柴崎恭秀、島剛、白石慶子、鈴木美樹、須藤亜貴、瀬戸正人、館形比呂一、田中圭介、千葉清藍、ときたま、戸谷成雄、西成田育男、野沢二郎、萩原朔美、橋本徳彦、平山素子、松井冬子、港千尋、宗像利浩、母袋俊也、ヤノベケンジ、山中現、吉田重信、渡邊晃一 U.S.A / オノ・ヨーコ、長澤伸穂、Canada / 武谷大介、Germany / Gunter Deller、Michel Klofkorn、Maria Mohr、Zero Reiko Ishihara、Mexico / Adalbero Bonilla、Susana Catellanos、Carmen Flores、保住 将文、Adrin Mendieta、Vicente Mesinas、U.K / Richard Bond、Switzerland / Nicolas Christol、Anna Schlaeppli、Mélane Baumgartner、Nicholas Marolf、The Netherlands / Tineke van Veen</p> <p>【展示、上映（一部）】 10月11日 アーティストトーク：喜多方市美術館、石蔵倉庫 10月25日 シンポジウム：湯川村 10月26日 鼎談：喜多方市美術館</p>